

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

## 使用上の注意改訂のお知らせ

2023年5月

東和薬品株式会社

慢性心不全治療剤

日本薬局方 カルベジロール錠

### カルベジロール錠 1.25mg 「トーフ」

慢性心不全治療剤 頻脈性心房細動治療剤

日本薬局方 カルベジロール錠

### カルベジロール錠 2.5mg 「トーフ」

持続性高血圧・狭心症治療剤 慢性心不全治療剤 頻脈性心房細動治療剤

日本薬局方 カルベジロール錠

### カルベジロール錠 10mg 「トーフ」

持続性高血圧・狭心症治療剤 頻脈性心房細動治療剤

日本薬局方 カルベジロール錠

### カルベジロール錠 20mg 「トーフ」

このたび、標記製品の使用上の注意を改訂いたしましたのでお知らせいたします。  
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

#### 1. 改訂内容 (\_\_\_\_\_: 追記)

改訂後			改訂前		
3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）			3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
交感神経刺激剤 アドレナリン 等	(1) 相互の薬剤の 効果が減弱する。 (2) 血圧上昇、徐 脈があらわれるこ とがある。	(1) 本剤のβ遮断作用に より、アドレナリンの作 用が抑制される。また、 アドレナリンのβ刺激作 用により本剤のβ遮断作 用が抑制される。 (2) 本剤のβ遮断作用に より、α刺激作用が優位 になると考えられている。	交感神経刺激剤 アドレナリン 等	血圧上昇があらわ れることがある。	本剤のβ遮断作用によ り、α刺激作用が優位に なると考えられている。

#### 2. 改訂理由

「相互作用 併用注意」の項（自主改訂）

相互作用相手薬の記載との整合性を図るため、改訂いたしました。

※ 2023年3月14日付厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課事務連絡「医薬品(体外診断用医薬品を除く)の使用上の注意における「褐色細胞腫」の用語について」に基づき、「褐色細胞腫」の記載を「褐色細胞腫又はパラングリオーマ」に変更しました。

参考：医薬品・医療機器等安全性情報 No.400 (<https://www.pmda.go.jp/files/000252199.pdf#page=15>)

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会の医薬品安全対策情報（DSU）No.317（2023年5月）に掲載の予定です。

最新の電子添文は、医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)

及び弊社「東和薬品医療関係者向けサイト」 (<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/product/>) に掲載いたします。

また、専用アプリ「添文ナビ」で右記GS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。



製造販売元

**東和薬品株式会社**

大阪府門真市新橋町2番11号

【製品情報お問い合わせ先】

学術部DIセンター

TEL 0120-108-932

○●医療関係者向けメール配信サービスのご案内●○

電子添文改訂等の適正使用情報に関するウェブサイト  
更新情報をメールにてお知らせいたします。

<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/mail.html>

